

3 まちなかの交通に関する実態調査

3.1 四条通における交通実態調査

(1) 交通実態調査の内容

調査目的

四条通における歩道拡幅などの道路空間の再配分施策に対する検討を行うため、四条通の交通および路上荷さばきに関する実態調査を実施

調査内容

四条通の実態調査として、以下の「交差点交通処理調査」、旅行速度調査」、路上荷さばき定点観測調査」、GPSによる車両観測調査」を実施した。

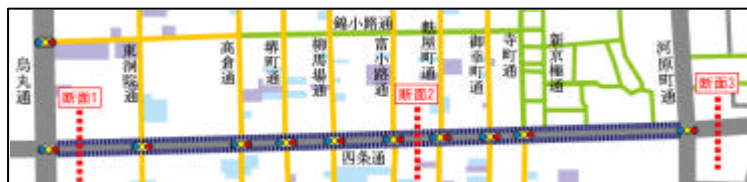
| | 交差点交通処理調査 | 旅行速度調査 | | 路上荷さばき定点観測調査 | GPSによる車両観測調査 |
|------|----------------------------------|----------------------------------|------|---|--------------------------------------|
| 調査日 | 平成20年11月16日(日) 平成20年11月18日(火) | 平成20年11月16日(日) 平成20年11月18日(火) | 調査日 | 平成20年11月18日(火) | 平成20年11月 5 日(水) ~ 平成21年 1 月20日(火) |
| 調査時間 | 7:00 ~ 21:00 | 7:00 ~ 19:00 | 調査時間 | 5:00 ~ 22:00 | - |
| 調査箇所 | 四条通 (烏丸通 ~ 四条大橋西詰) | | 調査箇所 | 四条通 (烏丸通 ~ 四条大橋西詰) | 歴史的都心地区及び周辺部 |
| 調査項目 | 交差点方向別 /車種別交通量 | 調査車両の移動データ (時刻・位置) | 調査項目 | 車種別駐停車数 荷さばき状況(荷さばき時間、 車種、配送体制、業者名、 搬入・搬出、配送先) | 移動軌跡情報 (位置座標、時刻) |

3 まちなかの交通に関する実態調査

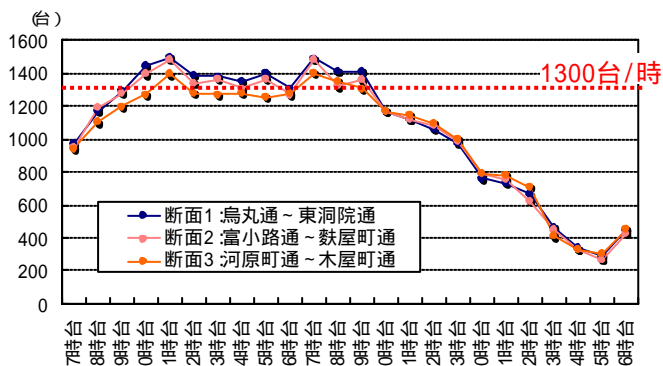
(2) 四条通交通実態結果

●四条通では,平日 休日,調査断面位置にかかわらず,朝から夕方にかけて,1,300台/時前後の交通量

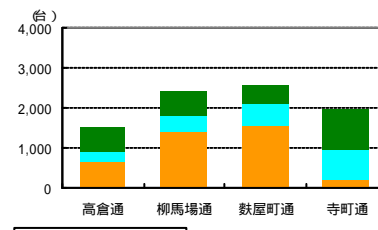
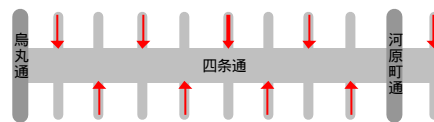
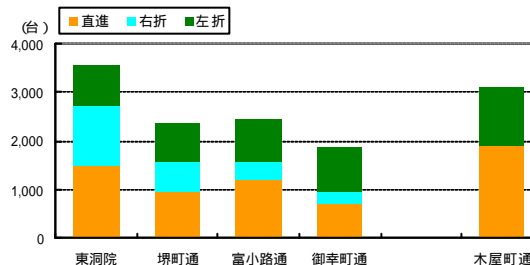
●南北道路では,交差点へ流入する総交通量は,休日より平日が多い
 ●南向きの道路では,西側(烏丸通側)に近いほど右折する割合が高く,北向きの道路では,東側(河原町通側)に近いほど,右折する割合が高い



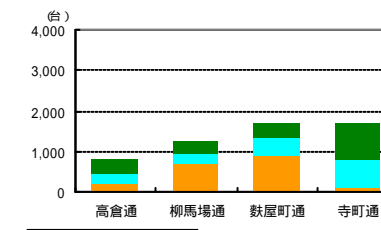
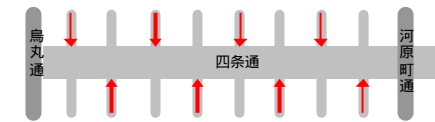
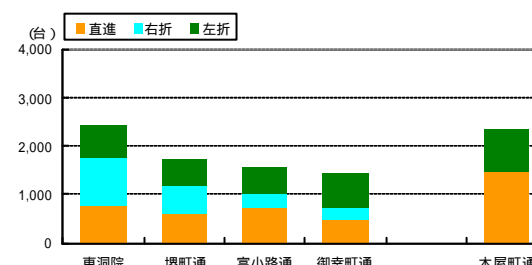
【平日の四条通の交通量】



【平日の流入交通量】



【休日の流入交通量】



3 まちなかの交通に関する実態調査

(3) 物流実態調査結果

- 駐停車ブロック内の店舗への配送が多い
- 御幸町通から河原町通間の北側では、四条通に面する店舗以外への配送が多い



3 まちなかの交通に関する実態調査

3.2 放置自転車台数及び自転車走行台数実態調査

(1) 自転車実態調査の内容

調査目的

駐輪場設置の実施前と実施中における放置自転車台数を把握することで、駐輪場設置による放置自転車減少効果を把握
駐輪場設置の実施前と実施中において、走行禁止区域を走行している自転車台数を把握することで、駐輪場周辺での違反者率を把握し、ルールを遵守して駐輪場を利用しているかを把握

調査内容

| | 放置自転車台数調査 | | 自転車走行台数実態調査 | |
|------|-----------------------|--------------|---|--|
| 調査日 | | 実験前 | 実験中 | |
| | 平日 | H20.12.11(木) | H21.2.18(水) | |
| | 休日 | H20.12.20(土) | H21.2.21(土) | |
| 調査時間 | 7:00 ~ 19:00 (12時間調査) | | 7:00 ~ 21:00 (14時間調査) 裏寺町通と新京極公園前は13時 ~ 24時が規制時間帯であるため、12時 ~ 21時の9時間調査 | |
| 調査箇所 | 駐輪場の設置を行う周辺地域 | | 新京極公園駐輪場周辺の走行禁止区域 | |
| 調査項目 | 放置自転車台数 | | 自転車乗車台数(自転車に乗っている) 自転車降車台数(自転車を押している) | |

3 まちなかの交通に関する実態調査

(放置自転車台数調査の調査箇所)



(自転車走行台数調査の調査箇所)



- A : 新宮極公園駐輪場周辺での調査範囲
- B : 御池通（南側歩道上3箇所）駐輪場周辺での調査範囲

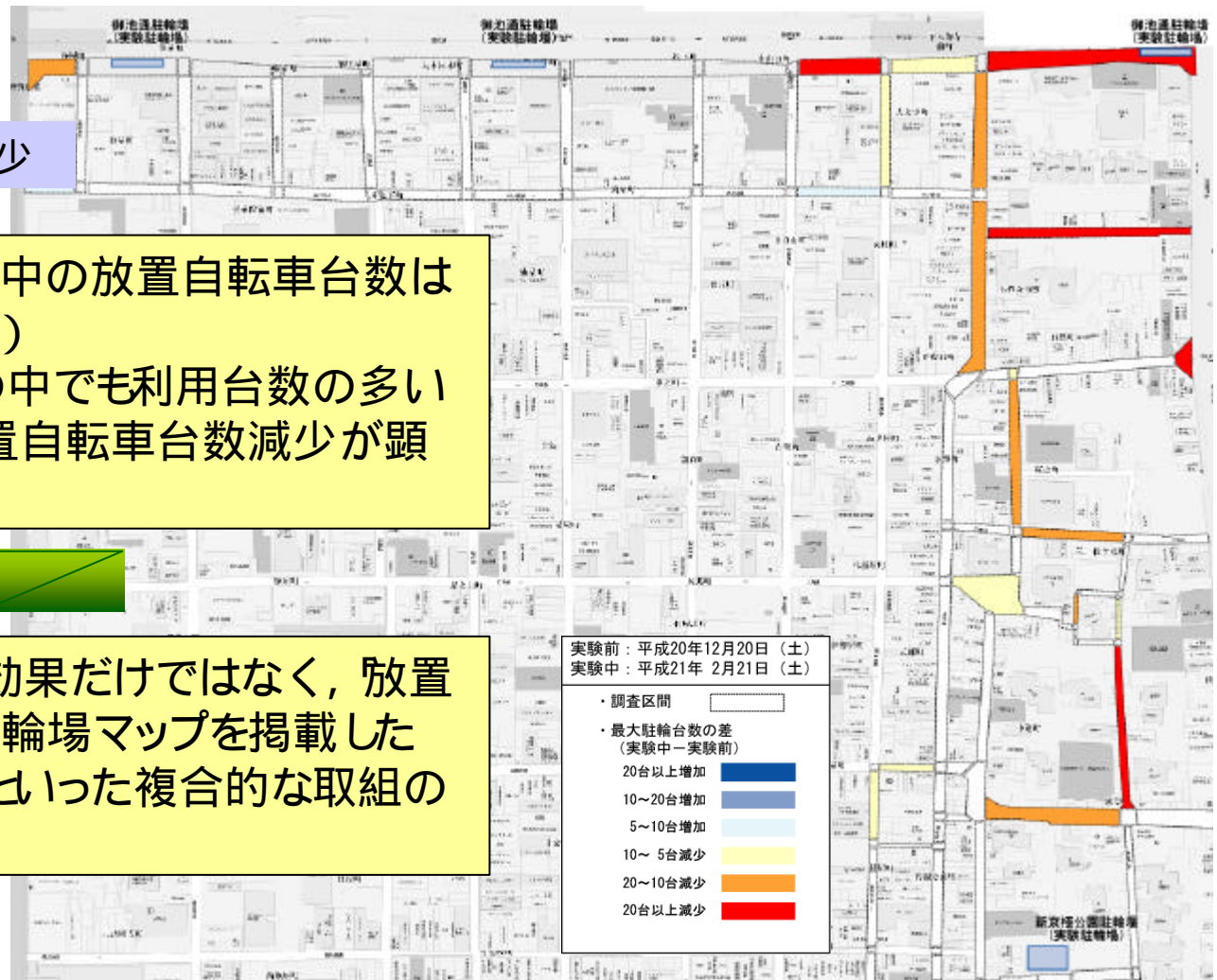
3 まちなかの交通に関する実態調査

(2) 放置自転車の減少

休日の放置自転車の減少

- 実験前と比較して、実験中の放置自転車台数は減少傾向（休日のケース）
- 特に、まちかど駐輪場の中でも利用台数の多い河原町御池周辺での放置自転車台数減少が顕著

- まちかど駐輪場設置の効果だけではなく、「放置自転車撤去の強化」や駐輪場マップを掲載した啓発冊子の配布活動」といった複合的な取組の効果が発現



3 まちなかの交通に関する実態調査

(3) 自転車の走行マナー

休日の走行マナー



- 当初, 新京極公園に駐輪場を設置することで, 走行マナーを守らない利用者が増加する懸念
- 実験中の状況では, 平日はマナー向上, 休日はマナー低下
- ただ, 大きなマナー低下はなし



- 実験中に「ガードマンによる注意喚起」や走行ルールについて掲載した「啓発冊子の配布活動」といった複合的な取組を実施

押しチャリ率の状況

| | 平日 | 休日 |
|-----|----------|----------|
| 実験前 | 10 ~ 12% | 20 ~ 23% |
| 実験中 | 14% | 19 ~ 22% |

3 まちなかの交通に関する実態調査

3.3 自転車利用者に対するアンケート調査

(1) まちかど駐輪場調査

調査目的

新京極公園,御池通(南側歩道上3箇所)駐輪場の評価(利用者満足度等)を把握するため,駐輪場利用者に対して,アンケート調査を実施

調査内容

調査対象と調査場所

調査対象:実験駐輪場利用者

調査場所:新京極公園,御池通(南側歩道上3箇所)の2駐輪場・4箇所

調査日時

平日調査:2/2(月),2/4(水)~2/6(金),2/9(月)の計5日間

休日調査:2/7(土),2/8(日),2/14(土),2/15(日)の計4日間

配布時間:7~21時

調査方法

駐輪場利用者に対して,料金清算後に,調査員がヒアリングを実施した。
ヒアリングができない場合は手渡しにより配布した。

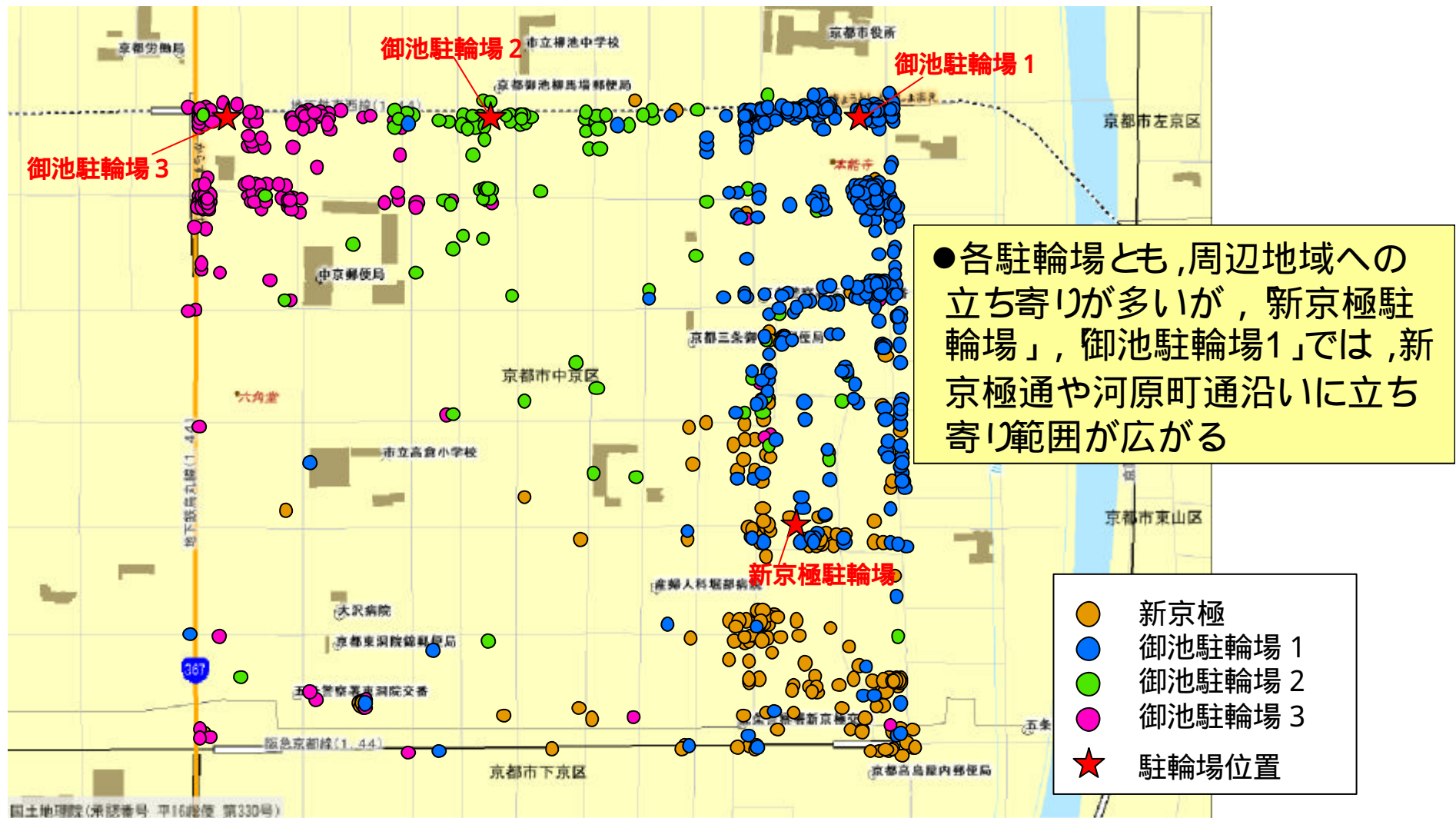
3 まちなかの交通に関する実態調査

アンケート配布枚数 , 回収枚数

| 調査場所 | 調査方法 | 配布枚数 | 回収枚数 | 回収率 |
|--------|-------|-------|------|------|
| 新京極 | ヒアリング | 169 | 169 | 100% |
| | 手渡し | 47 | 9 | 19% |
| 御池 (東) | ヒアリング | 372 | 372 | 100% |
| | 手渡し | 248 | 59 | 24% |
| 御池 (中) | ヒアリング | 87 | 87 | 100% |
| | 手渡し | 35 | 11 | 31% |
| 御池 (西) | ヒアリング | 177 | 177 | 100% |
| | 手渡し | 118 | 31 | 26% |
| 計 | ヒアリング | 805 | 805 | 100% |
| | 手渡し | 448 | 110 | 25% |
| | | 1,253 | 915 | 73% |

3 まちなかの交通に関する実態調査

駐輪後の立ち寄り先 (まちかど駐輪場アンケート調査より)



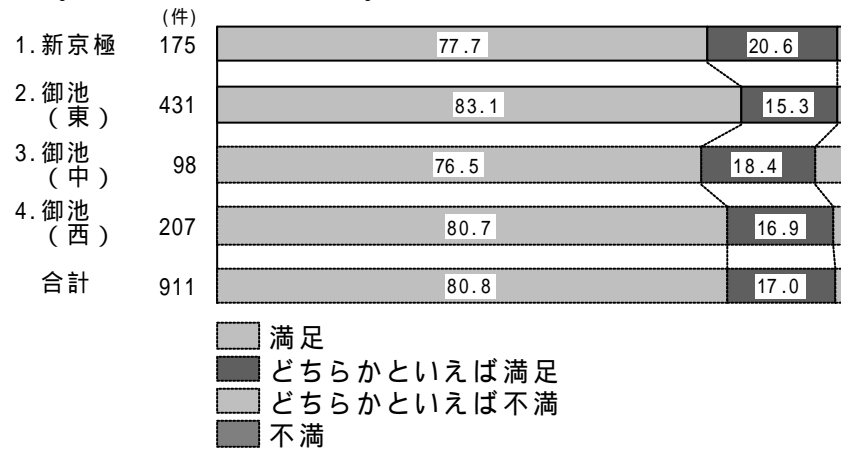
国土地理院(承認番号: 平16総使 第330号)

3 まちなかの交通に関する実態調査

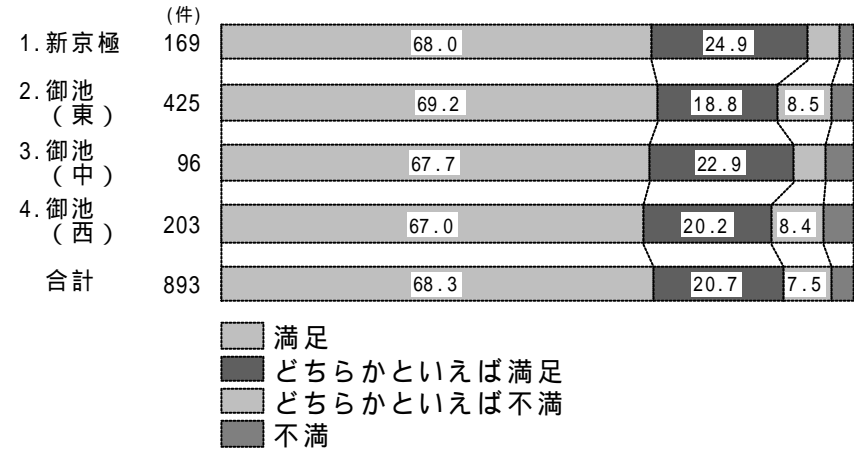
まちかど駐輪場を利用した感想 (まちかど駐輪場アンケート調査より)

●設置位置 ,料金設定とも ,90%前後の利用者が“満足”又は“どちらかといえば満足”と回答しており ,非常に満足感が高い

(駐輪場の設置位置)

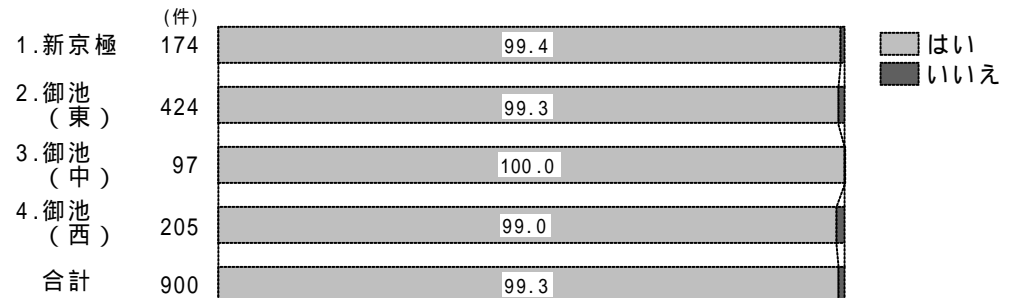


(料金設定)



今後のまちかど駐輪場の利用意向 (まちかど駐輪場アンケート調査より)

●今後のまちかど駐輪場の利用意向では ,各駐輪場ともほぼ全ての利用者が「利用したい」と回答



3 まちなかの交通に関する実態調査

(2) 一般駐輪場・路上駐輪車両調査

調査目的

まちなかの自転車利用者に対して、駐輪場や走行禁止区域に関する情報提供を行い、今後の利用意向や転換意向を把握
自転車利用者が考える駐輪場の利用料金や設置場所に関するニーズを調査し、利用者が必要としている駐輪場サービスレベルへの意向を把握

調査内容

調査対象と調査場所

調査対象：一般駐輪場利用者，路上駐輪者

調査場所：まちなかの一般駐輪場（富小路六角駐輪場，ろっくんプラザ，大丸京都店駐輪場（2箇所）），まちなかの路上駐輪箇所

調査日時

一般駐輪場利用者

平日調査：2/4（水）～2/5（木）の計2日間

休日調査：2/7（土）～2/8（日）の計2日間

配布時間：7～21時

（大丸京都店駐輪場は10～20時）

路上駐輪者

平日調査：2/5（木）

休日調査：2/8（日）

配布時間：2/5（木）は10:00，16:00の2回

2/8（日）は11:00，14:00，17:00の3回

3 まちなかの交通に関する実態調査

調査方法

一般駐輪場利用者

料金清算後に、調査員から手渡しによる配布

路上駐輪者

路上駐輪車のカゴにアンケート票を投入

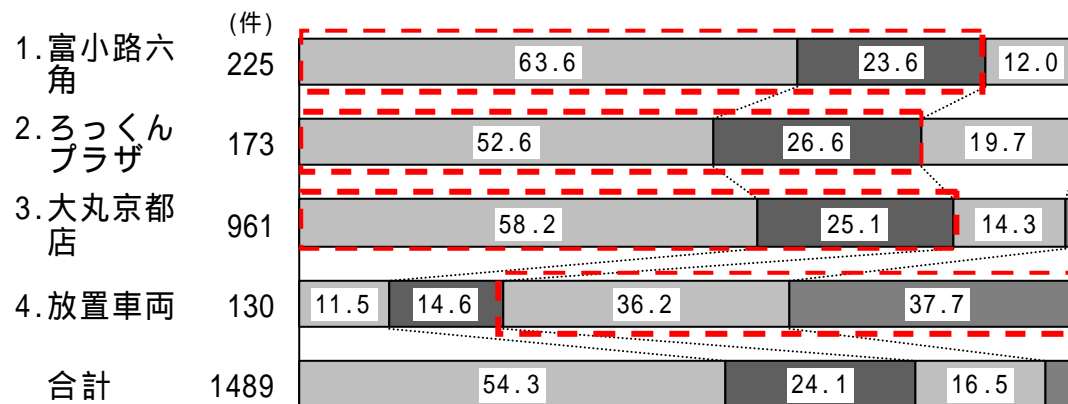
アンケート配布枚数,回収枚数

| | 調査場所 | 調査方法 | 配布枚数 | 回収枚数 | 回収率 |
|----------|---------|---------|-------|-------|-----|
| 一般駐輪場利用者 | ろっくんプラザ | 手渡し | 771 | 228 | 30% |
| | 富小路六角 | | 676 | 177 | 26% |
| | 大丸 | | 3,088 | 997 | 32% |
| | 計 | | 4,535 | 1,402 | 31% |
| 路上駐輪者 | | カゴに投げ込み | 3,534 | 138 | 4% |

3 まちなかの交通に関する実態調査

普段の駐輪場所（一般駐輪場 路上駐輪車両アンケート調査より）

- 「富小路六角」, 「ろっくんプラザ」, 「大丸京都店」では“ほぼ毎回, 駐輪場に駐めていた”, “路上よりも駐輪場に駐めることが多かった”が約 8割を占める
- 「放置車両」では“駐輪場よりも路上に止めることが多かった”が約 4割, “ほぼ毎回, 路上に駐めていた”を含めると7割以上で, 常習的に路上駐輪をしている状況



- ほぼ毎回、駐輪場に駐めていた
- 路上よりも駐輪場に駐めることが多かった
- 駐輪場よりも路上に駐めることが多かった
- ほぼ毎回、路上に駐めていた

3 まちなかの交通に関する実態調査

(3) 地元関係者に対するアンケート調査

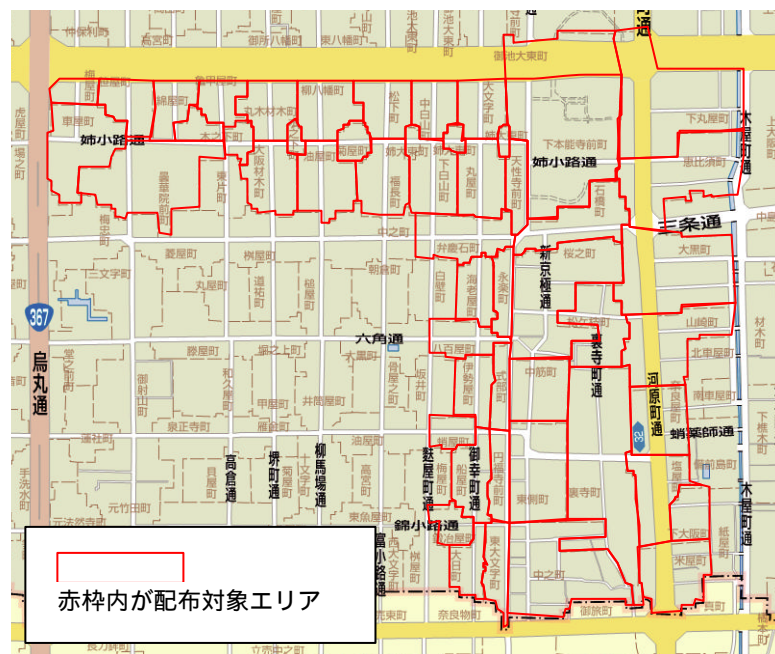
調査目的

放置自転車によるマイナスの影響や新京極公園, 御池通 (南側歩道上 3箇所) 駐輪場の設置による効果について, 地元商店や地元住民の方にアンケート調査を行い, 放置自転車や走行禁止区域走行自転車に関する影響把握を行う

調査内容

調査対象

実験駐輪場周辺の住民や商店など
(御池通, 姉小路通, 御幸町通, 寺町通,
新京極通, 河原町通沿い)



3 まちなかの交通に関する実態調査

調査内容

配布方法・配布日

配布方法

日本郵便のタウンメールを使い、配布対象地域の方に全戸配布

配布日

平成21年2月19日～2月21日の3日間

回答締切日

平成21年3月2日（1～2週間の回答期間）

アンケート配布枚数、回収枚数

配布枚数

2,986枚

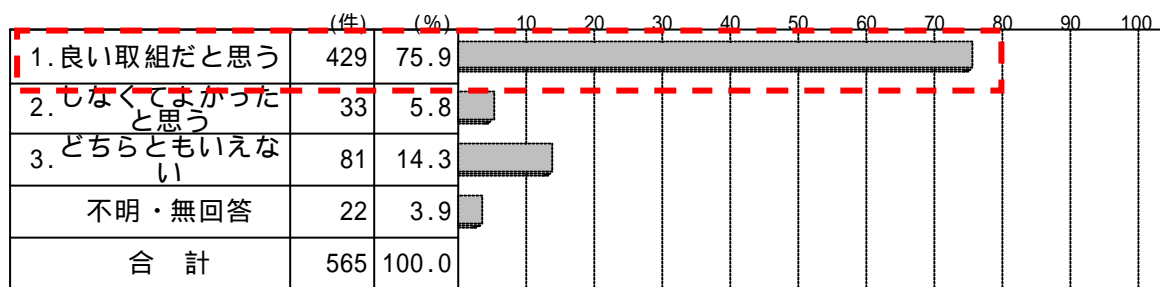
回収枚数・回収率

565枚（回収率：19%）

3 まちなかの交通に関する実態調査

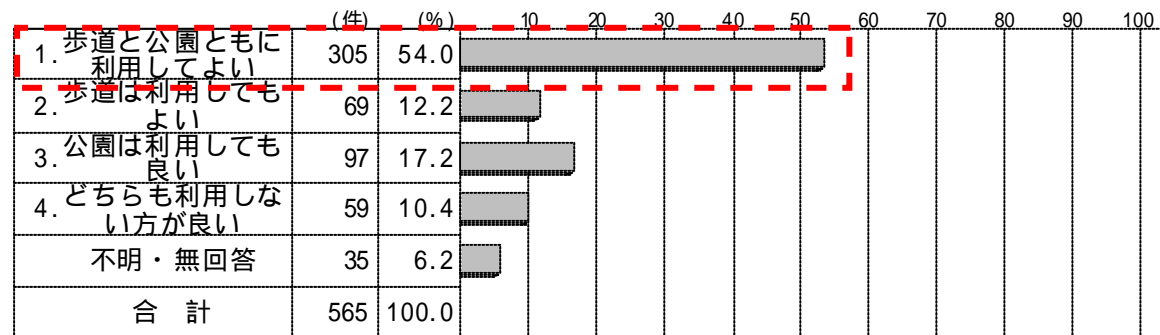
取組の評価

●地元の方の約75%が「良い取組」と回答



今後の駐輪場設置の利用場所について

●今後の駐輪場設置の場所として、「歩道や公園を利用すること」について、「両方とも利用しても良い」という回答が半数以上



3 まちなかの交通に関する実態調査

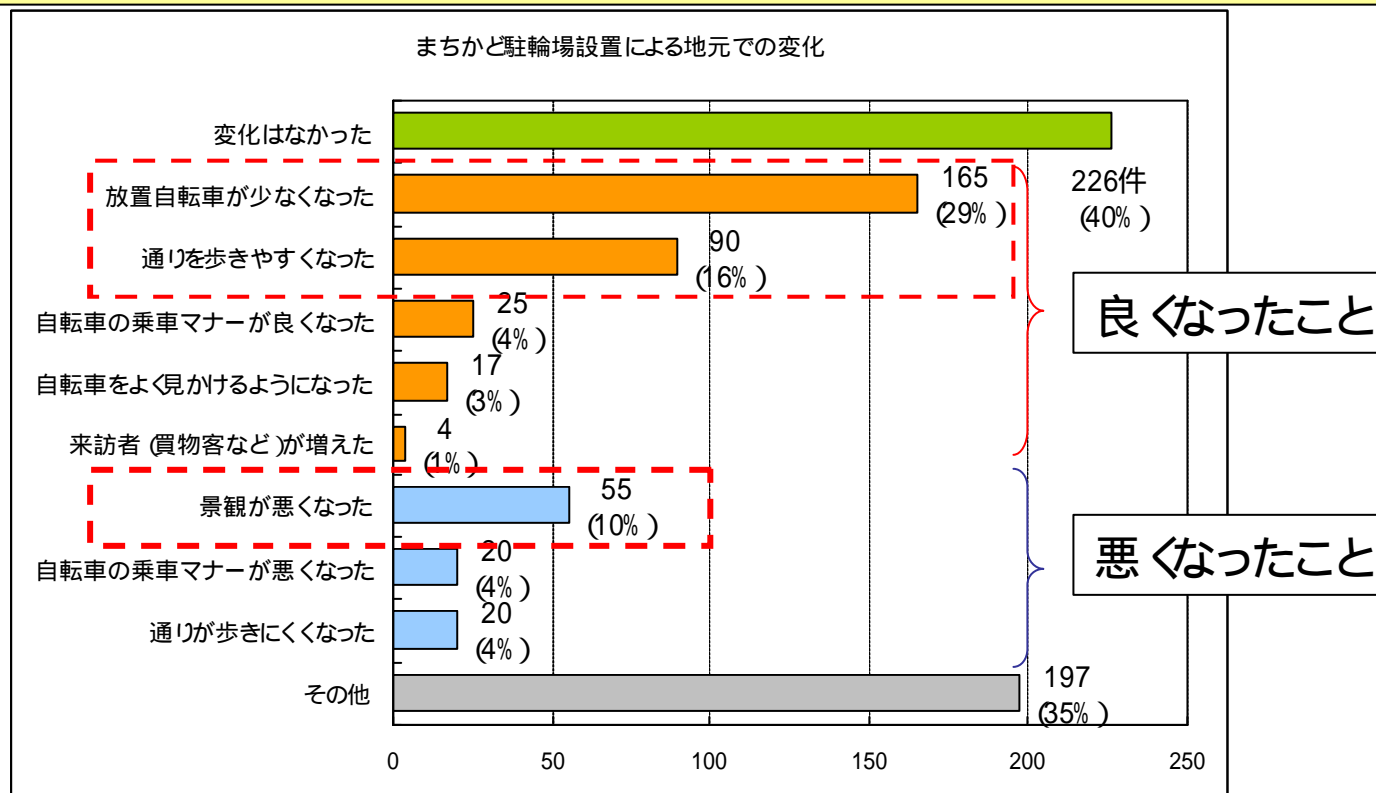
まちかど駐輪場設置の変化 (効果)

良くなったこと

「放置自転車の減少」約 3割。 「歩きやすくなった」約 2割。

悪くなったこと

「景観が悪くなった」約 1割。



3 まちなかの交通に関する実態調査

3.4 「^{まち}京なか^{ぶっく}歩く」などのまちの賑わいに関するアンケート調査

(1) 調査の内容

調査目的

○まちなかの魅力と公共交通の利便性をPRする情報誌「^{まち}京なか^{ぶっく}歩く」は、まちなかの賑わい創出と公共交通の利用促進を目的に発行



○情報誌の反応は、捌ける部数によって一定確認することは可能ではあるが、歩いて楽しい「まちなか戦略」を推進し、今後の情報提供関連施策への展開に繋げていくためには、読者の公共交通情報に対する興味や反応、公共交通への意識や利用の変化等といった細かな情報収集が必要



○「^{まち}京なか^{ぶっく}歩く」の末尾のページに読者アンケート欄を設け、「^{まち}京なか^{ぶっく}歩く」のお気に入りページや読者層を把握及び読後の公共交通に対する利用意向の変化等の把握に関するアンケート調査を実施

3 まちなかの交通に関する実態調査

調査内容

調査対象

調査対象：^{まち}京なか^{ぶっく}歩く」の読者

調査日時

調査日時 2/25 ~ 3/31

調査方法

携帯サイトを活用したWebアンケート方式

アンケート回収数

409件 (H21.3.11現在)

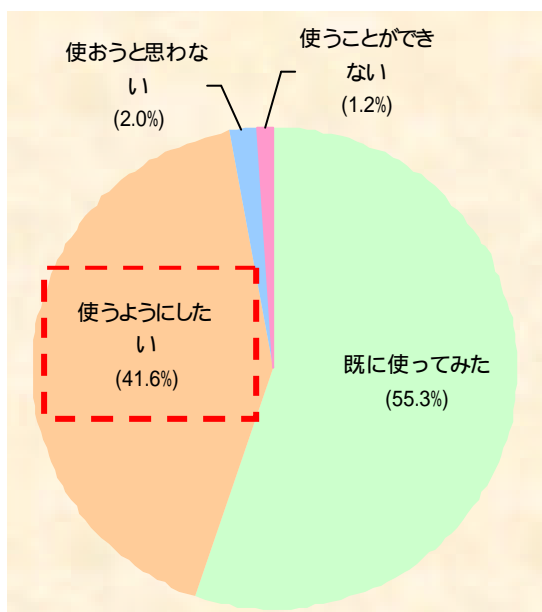


3 まちなかの交通に関する実態調査

調査結果

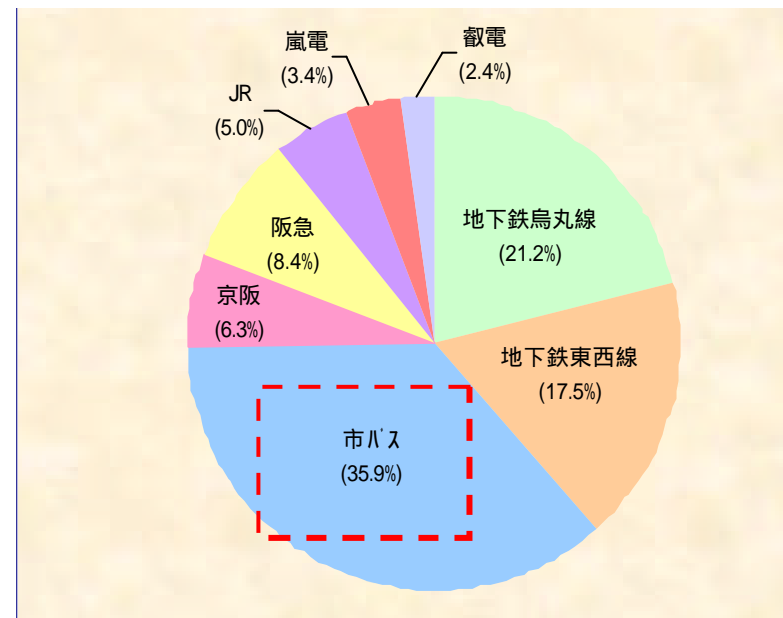
まち ぶっく
京なか歩くをみた後の公共交通利用意向

まち ぶっく
京なか歩くをみて、約4割の方が「公共交通を使うようにしたい」と回答した。



まち ぶっく
(京なか歩くを見て公共交通を使うようにしたい)と答えた方の)使いたい交通手段

「市バス」が最も多く、次いで「地下鉄烏丸線」、
「地下鉄東西線」の順となっている。



3 まちなかの交通に関する実態調査

3.5 まちなか来訪者実態アンケート調査

(1) 調査の内容

調査目的

- 歩行者と公共交通を優先した魅力あるまちづくりの実現に向けた施策の一つとして、不要な自動車利用に対する公共交通への転換が挙げられる
- 公共交通のサービス改善に加えて、公共交通の便利情報やクルマ利用時の諸問題に関する情報を提供し、行動変容を促すことも重要



- まちなかへ自動車を使って訪問する人々 (= まちなかの駐車場利用者)を対象に、自動車来訪者の交通特性等の把握と公共交通への転換を促すための意識付けを目的としたアンケート調査を実施する。

3 まちなかの交通に関する実態調査

調査内容

調査対象

歴史的都心地区の
主要な駐車場()の利用者
市営駐車場(御池地下, 四条烏丸), 大丸, 高島屋

調査日時

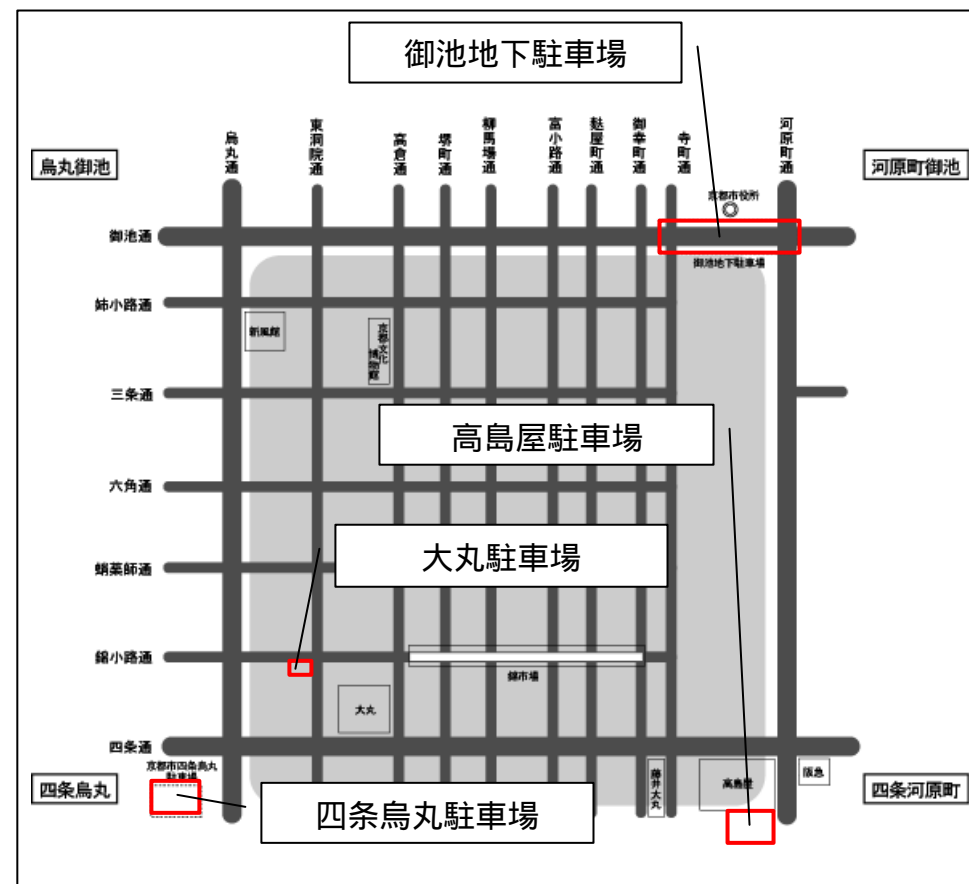
3月19日(木), 20日(祝)

調査方法

調査票の手渡し配布・郵送回収

アンケート配布件数

4,333枚
(平日2,018枚, 休日2,315枚)



アンケート配布駐車場位置図